

「大正区将来ビジョン2025（素案）」に対するご意見と大正区の考え方

書類番号1-1

No.	該当ページ	ご意見の要旨	大正区の考え方
1	<p>31ページ （1）まちの活性化について</p>	<p>素案の内容に異論は無いのですが、活性化にはまず交通インフラ（電車）の整備が必要に思います。</p> <p>大正区の人口が減少に転じ、かつ高齢化率も3割を超える中、活性化させるためにはより人を呼び込まないと支える人が居なくなると思います。介護や子育てにも通じる話ですし…</p> <p>大正駅～鶴町まで鶴見緑地線が延伸される計画が過去にあったものの、採算が合わないため見送りになっているとの情報も見ました。交通インフラを整えるのが先なのか、人を呼び込むのが先なのか…素人ですので分かりませんが、人を呼び込む為にはまずは交通インフラが無いと、マンションや商業施設などの開発も進まないのではないかと思います。このような意見をこちらでお話するのは筋違いなのかもしれませんが、このようなビジョンを見たいうえでより良い街になって欲しいとの思いから、寄せさせていただきます。</p>	<p>ご意見のとおり、交通インフラが整備されることで区（まち）の活性化に少なからず影響があるものと考えております。</p> <p>しかしながら、大正駅から鶴町までの長堀鶴見緑地線の延伸については、平成26年8月28日付け大阪市鉄道ネットワーク審議会による答申（『大阪市交通事業の設置等に関する条例』に位置づけられた未着手の地下鉄計画路線の整備のあり方について）において、「収支採算性は累積欠損を解消できない」としており、今後の実現の見通しがたっておりません。</p> <p>大正区役所といたしましては、人口増加の観点から取り得る方策として、大正区のエリア価値を向上させ、新たなにぎわいと活力を生み出す方向で考えております。</p>
2	<p>31ページ （1）まちの活性化について</p>	<p>まち自体の活性化には、交通インフラ（電車）の整備が必須に思います。大正駅は南北に長い区であるにも関わらず、大正駅からはバスでしか移動できず、不便なイメージがあるせいか、転入してくる人口（特に若者世代）が非常に少ないのではないのでしょうか。</p> <p>若者スポット、堀江にアクセスのよい地域であるのに、大正区内に帰りづらいせいで、若者世代が定着していないように思います。高齢化が進む区では、まちの活性化が見込めないというように思います。</p> <p>IKEA付近まで路線があれば、IKEA周辺の土地も自然と需要が増え、新しい商業施設や集合住宅の建設が進むのではないのでしょうか。</p>	<p>具体的には区内外の人々に大正のまちに興味や関心を持っていただき、潜在的な価値を発見してもらうことで、このまちに関わりを持とうとする人々を増やし、転入・起業・投資等を考えてもらうため、千島公園及び周辺一体で定期的に「マルシェ」や、リノベーションにより利活用が見込まれる空家を巡る「まち歩き」等の社会実験に取り組んでいきます。</p>